

みずほCustomer Desk Report 2023/09/08号 (As of 2023/09/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.94
TKY 9:00AM	147.72	1.0724	158.38	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.87	1.0731	158.51	1.2498	0.6381
SYD-NY Low	147.05	1.0686	157.39	1.2508	0.6394
NY 5:00 PM	147.30	1.0696	157.53	1.2445	0.6363
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,500.73	▲ 57.54	日本2年債	0.0100%	0.0000%
NASDAQ	13,748.83	▲ 123.64	日本10年債	0.6600%	0.0100%
S&P	4,451.14	▲ 14.34	米国2年債	4.9522%	▲0.0756%
日経平均	32,991.08	▲ 249.94	米国5年債	4.3739%	▲0.0653%
TOPIX	2,383.38	▲ 9.15	米国10年債	4.2490%	▲0.0446%
ソコ日経先物	32,895.00	▲ 225.00	独10年債	2.6190%	▲0.0375%
ロンドンFT	7,441.72	▲ 15.58	英10年債	4.4475%	▲0.0810%
DAX	15,718.66	▲ 22.71	豪10年債	4.1700%	0.0190%
ハンセン指数	18,202.07	▲ 247.91	USDJPY 1M Vol	9.30%	0.11%
上海総合	3,122.35	▲ 35.72	USDJPY 3M Vol	9.30%	0.15%
NY金	1,942.50	▲ 1.70	USDJPY 6M Vol	9.31%	0.21%
WTI	86.87	▲ 0.67	USDJPY 1M 25RR	▲0.81%	Yen Call Over
CRB指数	283.77	▲ 0.97	EURJPY 3M Vol	9.46%	0.21%
ドルインデックス	105.06	0.20	EURJPY 6M Vol	9.64%	0.19%

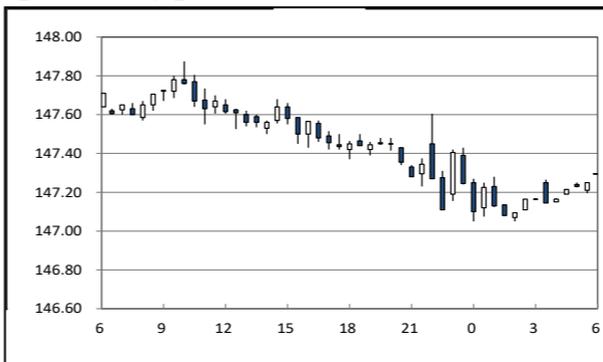
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	日	欧	米	Event	結果	予想
9月7日	10:30					貿易収支	7月 A\$8039m	A\$10000m
	14:00					景気一致指数・速報	7月 114.5	114.2
	18:00					GDP(前期比)・確報	2Q 0.1%	0.3%
	18:00					GDP(前年比)・確報	2Q 0.5%	0.6%
	21:30					新規失業保険申請件数	2-Sep 216k	233k

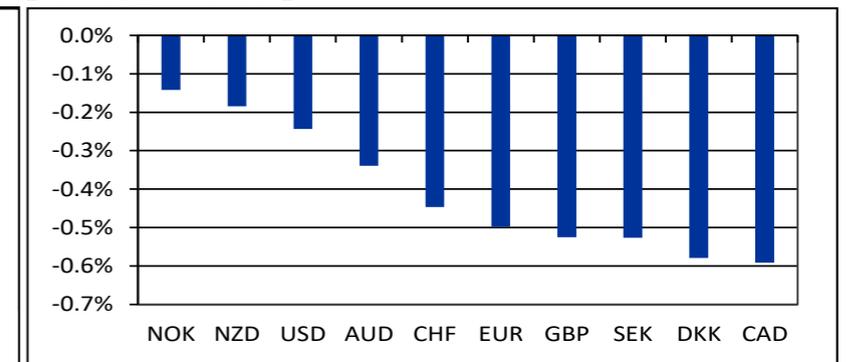
【本日の予定】

Date	Time	独	仏	米	米	Event	予想	前回
9月8日	15:00					CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.3%/6.1%	0.3%/6.1%
	15:45					製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.4%/	-1%/-0.2%
	22:00					バー米FRB副議長講演	-	-
	23:00					卸売在庫(前月比)・確報	7月 -0.1%	-0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-147.90	1.0400-1.0780	157.00-158.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、前営業日の流れを引き継いで147円台後半で推移していたが、米長期金利上昇が一服し、円が買い戻される展開となった。NY時間に入ってから、予想を下回る米新規失業保険申請件等の指標を受けて、ドル買い優勢の場面も見られたが、買いは長続きせず、結局147円台前半でクローズした。本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日に引き続き、為替介入の警戒感から上値を探る動きは限られると予想。特段材料がない中で、基本的には来週に控える米8月CPI待ちの相場となりそうだ。為替相場が即反応することはないだろうが、本邦7月の国際収支・経済収支の発表に注意を払っておきたい。

東京	東京時間は147.72レベルでオープン。序盤は底堅く推移し147.87まで上昇するも、仲値通過後に失速。日本株も上値重く推移したことや米金利の軟調さもあり、ドル円はじり安の展開。結局、147.50レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.50円レベルでオープン。昨日の米指標を受けたドル高が続く中、重いクロス円に引っ張られドル円も終始重かった。147.28円まで売られ同水準でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。オープン序盤は147.87まで上昇し、年初来高値を更新。しかし、前日に神田財務官の円安牽制発言への警戒感からか、それ以上の上値追いは限定的で、次第に反落。その後はクロス円の軟調な展開を受け、ドル円もじり安での推移が続き、147.30レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を下回った内容となった事や、米第2四半期単位人件費(確報値)も上方修正された結果を受け、発表直後はドル買いが優勢となり、147.60まで上昇する。しかし、買いは長続きせず、米金利が低下すると共に反落し、147.05まで値を下げる。午後は小幅反発し、147.20付近まで戻すも、上値重い展開が続き、結局147.30レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。1.0730付近を中心とした値動きが続くも、欧州時間に入って独金利が低下する動きに連れ安となり、1.0710まで下落。その後発表されたユーロ圏第2四半期GDPが下方修正された結果も下押し要因となり、上値重い推移が続き、1.0706レベルでNYオープン。朝方はドル買い地合の中、1.07台を割り込み、1.0686まで下落する。売り一巡後は、1.07台丁度付近まで戻す。午後は特段材料が見当たらない中、1.07丁度近辺を軸とした動きが続き、1.0696レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・南野